
聞きたかった言葉

遠美 見

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

聞きたかった言葉

【Nコード】

N67850

【作者名】

遠美 見

【あらすじ】

珍しく、飲みを断るロイエンタール。家で何かある模様です。

（前書き）

ロイエンタールのお誕生日小説です。

仕事を終わらせて端末の時計を見ると、5時30分だった。

今日は残業をしないで帰らなければならない。

帰るしたくをしていると、ミッターマイヤーがやってきた。

「やあ、ロイエンタール^^。今日はもう終わりか？ よかったら飲みにいかないか？ 久々に幕僚連中みんなで・・・」

「すまん、ミッターマイヤー。今日は早く帰らなければならないんだ」

「ほう・・・なぜだ？」

「別にたいした事じゃない。悪いな、また次の機会に誘ってくれ」

「わかった、じゃあな」

ミッターマイヤーは笑いをこらえて、ロイエンタールを見送った。

「・・・・・・・・なんなんだ、今日に限って」

執務室から出て城門にたどり着くまでに、ビッテンフェルト、ワレン、ケスラー、拳句の果てに皇帝夫妻にまで誘いを受けたロイエンタールは、ぐったりして家路についた。

今日は定時で帰らないといけないんだ。遅くなったりしたら嫁とまたけんかになる。

誕生日なんて誰にでもあるし、1年に1度必ずくるんだから別に何もしなくていいのに。

嫁と息子にとっては誕生日にケーキやご馳走やプレゼントがないなどありえないことらしい。

いつも絶妙なタイミングで仲裁してくれる息子も（まったくあれは一種の才能だ。将来は裁判官にでもなったらいいかもな）今日ばかりは嫁の味方だろう。

どうせ、バカのひとつおぼえのように、俺が最初に褒めた料理を出すに決まってるくせに……。

そついいながら、自然に歩くのは早くなるロイエンタールは、相変わらず素直じゃない奴である。

ロイエンタールに断られた人たちがサロンに集まって、そのロイエンタールの断った様子を報告しあってワインを飲みつつ爆笑していた事は、絶対に内緒なのである。

「悪いが、今夜は早く帰る」

ミッターマイヤーは、ずっとこの言葉が聞きたかったのだ。

E
N
D
E

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6785o/>

聞きたかった言葉

2010年11月3日03時58分発行